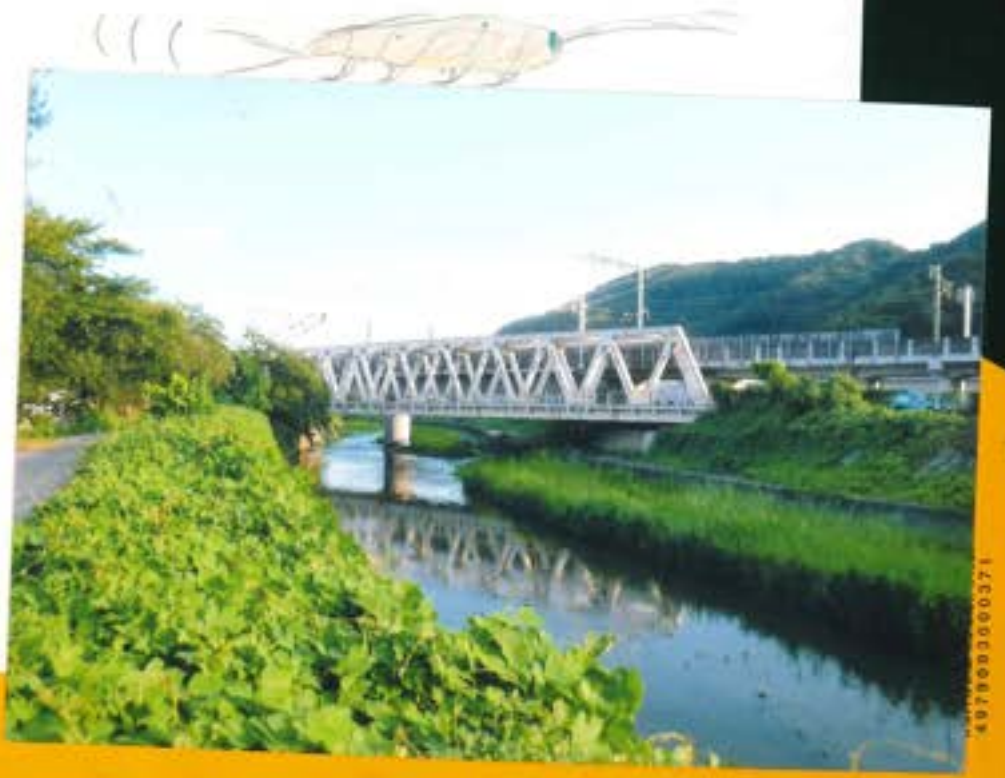




天川の

いのち

5年2組
犬塚悠吾



目次

2～5ページ…… 動機、研究方法、必要な物、

天川について

6、7ページ…… 天川全体の地図

8～11ページ…… 上流の調査

12～15ページ…… 中流の調査

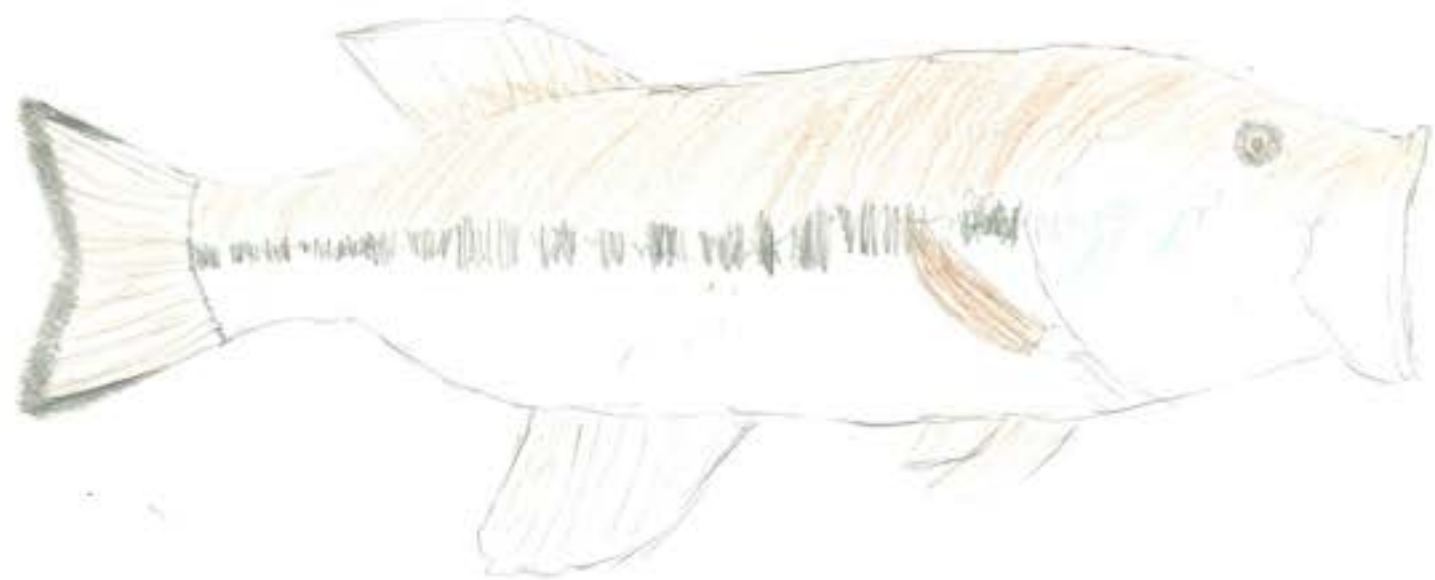
16～19ページ…… 下流の調査

20～23ページ…… 河口の調査

動力機

自宅の近くには、天川と言う二級河川が流れています。川を橋の上からのぞいても、同じような生き物しか見あたりません。

上流や中流、下流には、ちがう生き物がいると思ったので、調査をしてみることにしました。



ブラックバス(オクチバス)



カマツ

研究方法

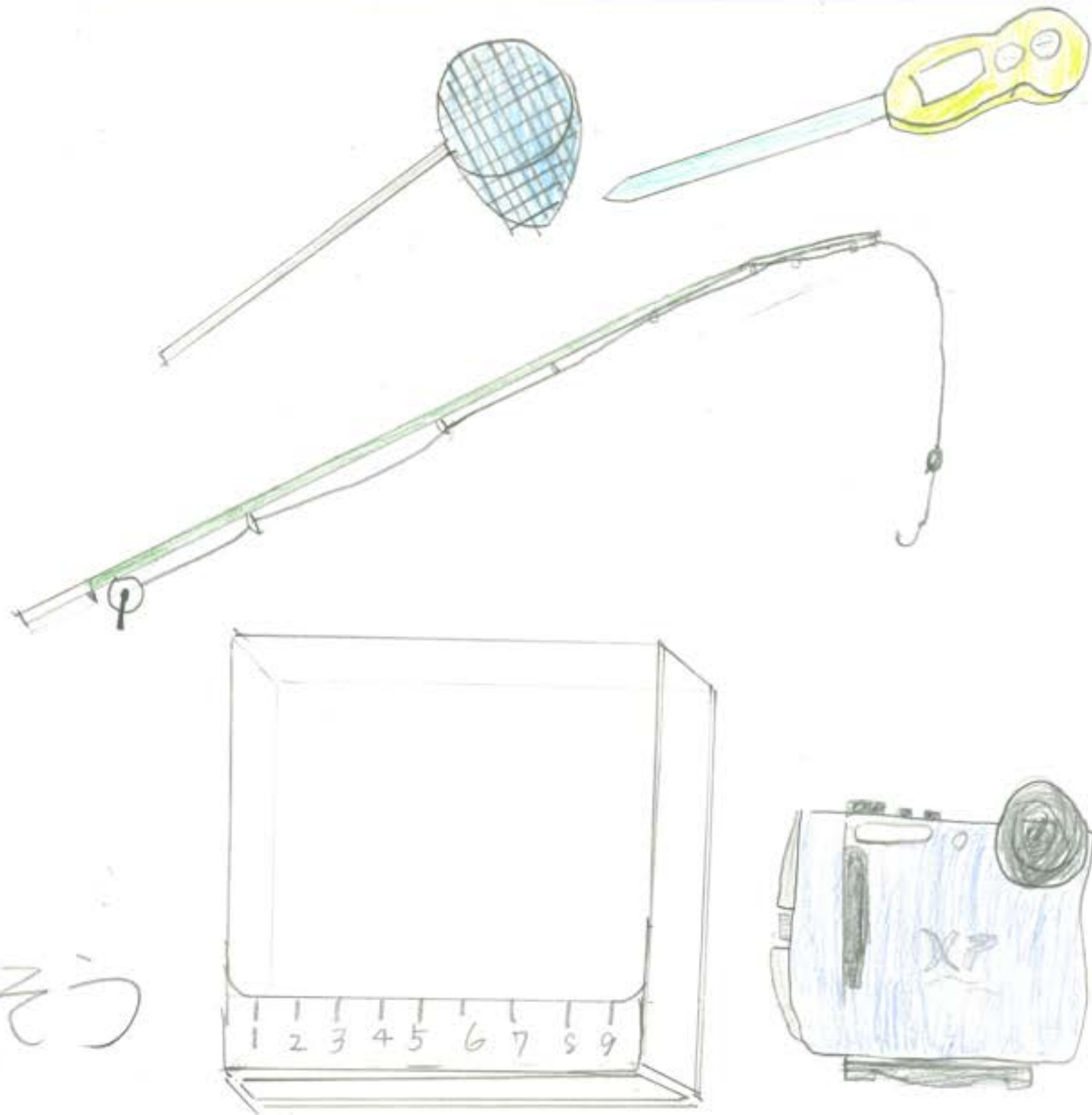
天川の上流、中流、下流のろか所で各4種類の
生き物を見つけ、その生態や特長を調べます。

生き物は、あみでと、たり釣、たりカメラでさつえいして
観察することになります。

※もと詳しく調べたいので河口も調べました。

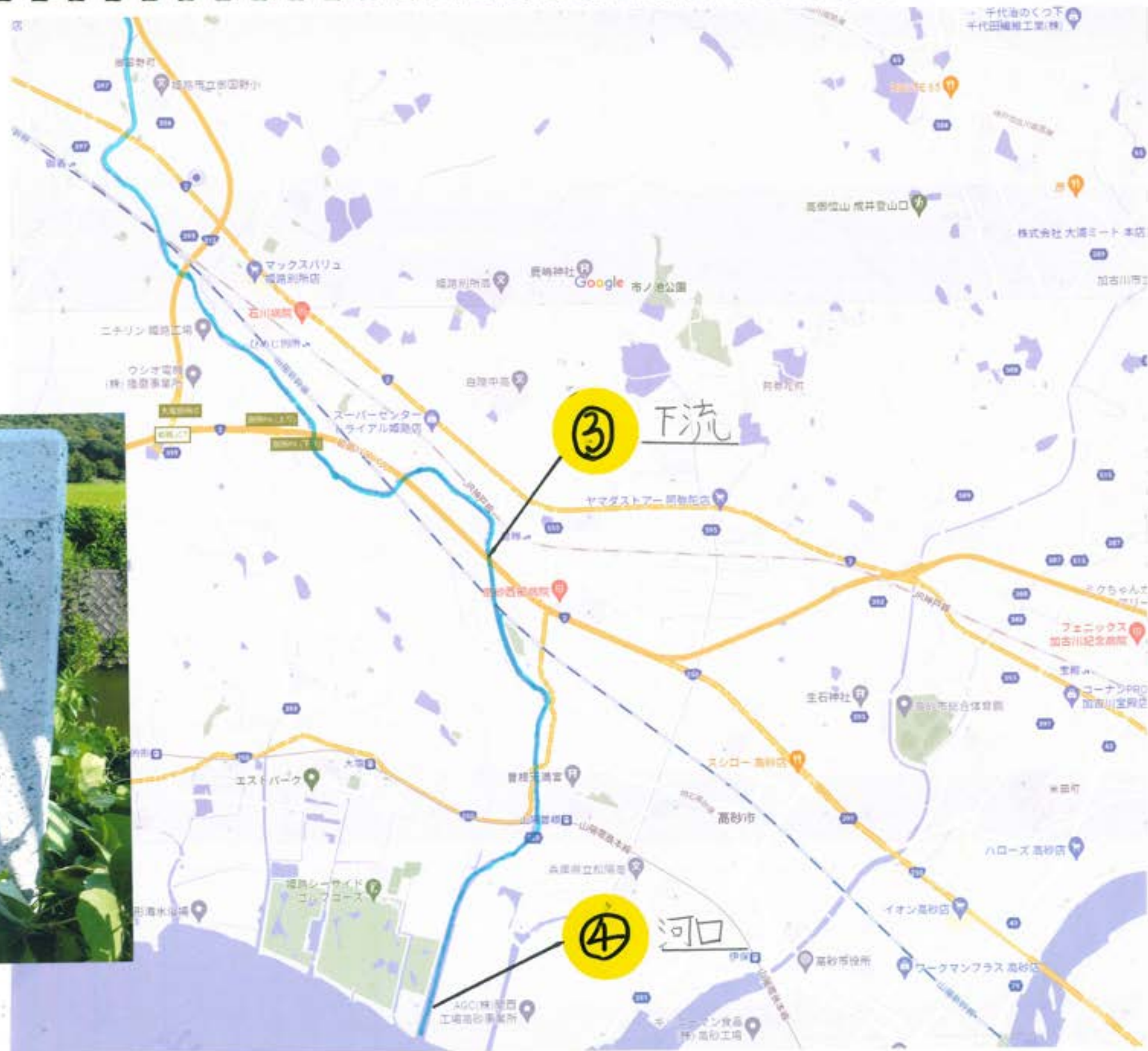
必要な道具

- ・あみ
- ・釣りさお
- ・カメラ
- ・そう眼鏡
- ・水温計
- ・さつえい用水そう



天川について

高砂市、女臣路市、加西市を流れる本流の二級河川。天川は、全長14.4kmあり、兵庫県知事が管理しています。加西市中山町から、はりま漢雉までつづいています。



① 上流の調査



1. 日時... 8月6日(土) 15時ごろ

2. 場所... 加西市中山町

3. 天候... 晴れ 

4. 水温... 29.6℃

5. 川の様子... 水が少しにごっていて、底が
は、きり見えませんでした。

6. 上流の生物



アカハライモリ (幼生)



天川の横にある落ち葉がたくさんたまった用水路各でとれました。2 cmくらいの小さな子どもで、黒いウーパールーパーみたいでした。



ドンコ (稚魚)



川の底から生えている草の根本にいました。約2cmでした。同じくらいの大きさのドンコが2匹とれました。前につかまえた成魚と同じようなふうがありました。



カワムツ (稚魚)



川の中心くらいの所にたくさんいました。
約3cmの小さなものが10匹きと
れました。ほかにも、10cmくらいのカワム
ツがたくさんいましたがとれませんでした。



ミズカマキリ



川の流れの無い、すみの所にいました。
約10cmで、色は茶色でした。1匹き
とれました。背中に羽のようなも
のもありました。

② 中流の調査



1.日時... 8月12日(木) 15時ごろ

2.場所... ②-1. 姫路市飾東町塩崎付近
②-2. 姫路市花田町原田付近

3.天候... 晴れ 

4.水温... 32.1℃

5.川の様子... 水が少しいにこってしまいました。
流れがない所では、よごれ
がたまっていました。

6. 中流の生物



オイカワ



川の合流点で又マエビをエサにして、ろびき釣りしました。約12cmくらいのしりびれの大きなオスもいました。いっしょにカワムツとタモロコも金釣れました。



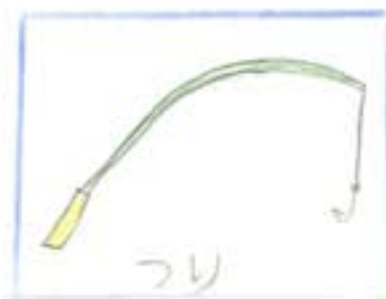
スッポン



堰の上で日なたぼっこをしていました。約5cmで子どものときしかなく、黒いはん点が甲らにありました。大人と同じように鼻が出てとんがてしました。



ブラックバス



少し深い水辺にいました。

まわりまわりにいる小魚をすごい速さで追いかけていました。大きさは約20cmで大きな口をしていました。



ウシガエル



どろがついている川におりる。かいたんかいたんの下のほうにいました。しっぽしっぽがついていたけど、とても大きかったです。オタマジャクシもいました。

③ 下流の調査



1.日時... 8月13日(土) 18時ごろ

2.場所... 高砂市曾根町付近

3.天候... 晴れ 

4.水温... 33.3℃

5.川の様子... 水がすくにごっていて水面にいる生き物しか見えませんでした。
スズキやクロダイがいたので、ここまで海の水が来ていると思います。

6. 下流の生物



クロベンゲイガニ



川へおろすスロープにいました。
こちらの幅が約5cmで大きいサイズだと分
かりました。水があまり好きじゃないようで
す。前にも歩いていました。



スズキ (ハクラー)



流れが少し速い所にいました。
約11cmで成魚と同じ形をしていました。スズキ
は出世魚で「ハクラー」「セイゴ」「フッコ」「スズ
キ」とよばれているそうです。



ボラ



天神橋と言う橋の下にい
ました。約50cmの大きいボラが2ひ
きいました。所々でたくさんはねて
いたけど、うまく写真がとれませんでした。



ウナギ



川のかげで、夜9時ごろ
に釣れました。38.3cmで、ここで釣れ
ると思いませんでした。お腹が金色の
黄金ウナギでつばらな目でした。

④ 河口の調査



1. 日時… 8月13日(土) 16時ごろ

2. 場所… 姫路市大塩町付近

3. 天候… 曇り 

4. 水温… 31.6℃

5. 川の様子… 水深があさいのに水が緑で底が見えにくかったです。

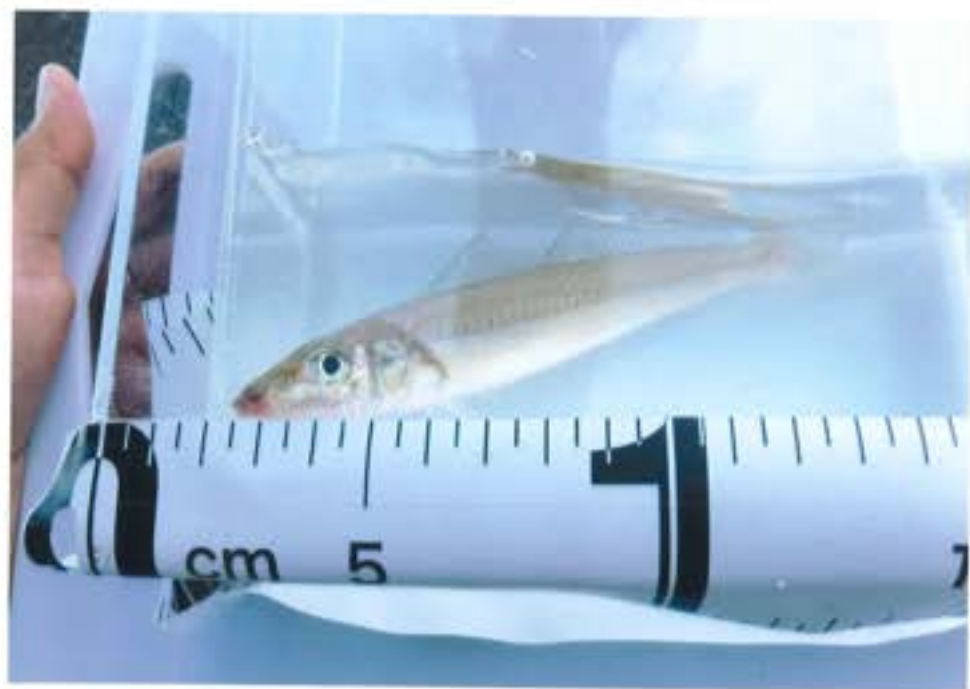
6. 河口の生物



マハゼ



石ゴカイをエサにして釣りました。全長9.5 cmでしたが、図鑑で調べたら最大で25 cmになるので、今度はもっと大きいのを釣りたいです。



シロギス



ハゼと同じ場所で釣りました。約17 cmで大きかったです。ハゼとちがって豆目が細長くてとんがっていました。体がキラキラしていました。

キチヌ



いつもキビシとよんでしまいましたが、
本当の名前はキチヌでした。約12cmで
したが、まだオスメスは決まっていな
いようです。そく糸魚がは、キリ見えしました。

マダイ



釣り上げたときにマダイだと分か
たのは、赤の体色に青いはん
点があ
ったからです。約7cmでした。釣れると
思っていませんでした。

風景調査言



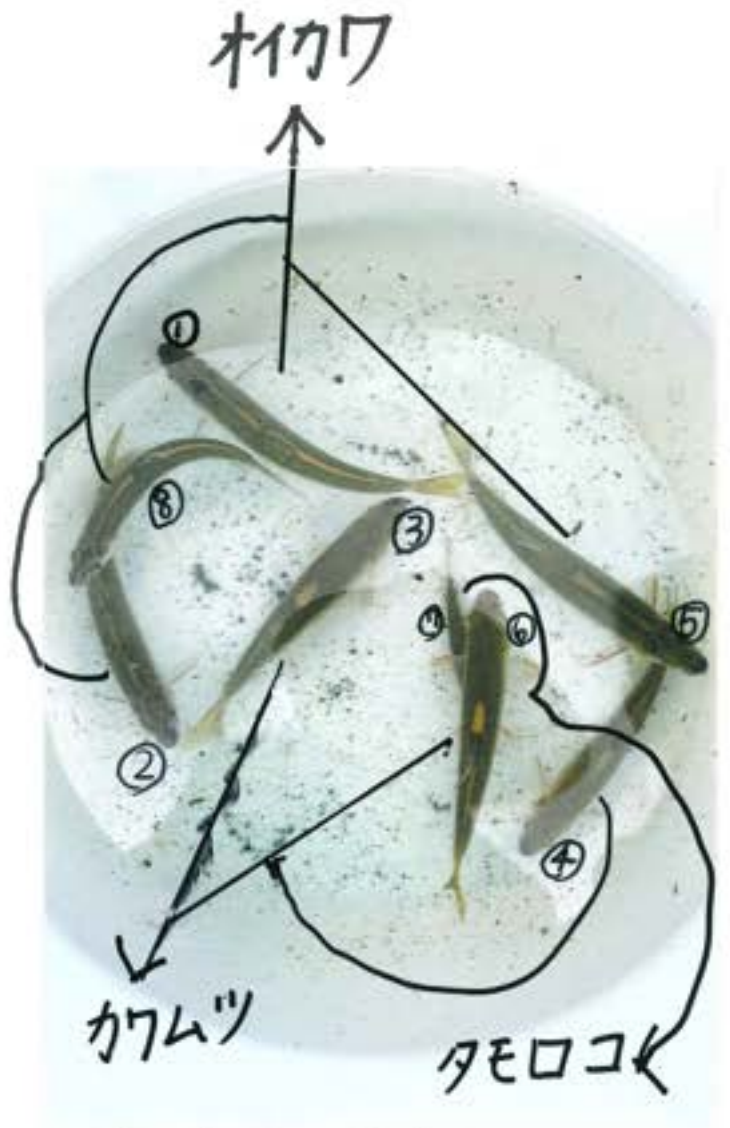
あみでとるのは大変でした。

(上流)



自分で作った毛針で釣れました。

(中流)



ぼくは①～⑤を釣って、お父さんは⑥～⑧を釣りました。

(中流)



ここには、アカエイやクロダイもいました。

(下流)



水温測定中!!
(河口)



38.3cmのウナギ!!
やたー!!!!
(下流)

言周査糸吉果

1. 上流から中流まで淡水魚、下流と河口には汽水魚と海水魚がいました。
2. ボラが中流まで上ってきていました。ボラが淡水でも生きることできると分かりました。
3. 河口に行くにつれて、魚や生き物の大きさが大きくなっているような気がしました。河口には、1m以上のナルトビエイもいました。



← 河口にいた
ナルトビエイ

4. 今回言調査するまで、

- ・コイ
- ・ナマス
- ・ヌマチチブ
- ・ヌートツア
- ・ヌマエビ
- ・アユ
- ・ブルーギル
- ・ヨシノボリ
- ・ミシシッピアカミミガメ
- ・スジエビ
- ・ハグロトンボ
- ・黄金(コイ)

・フナムシ

などを見たことがあります。

感想

今回で終わった塩分濃度やPH(水素イオン指数)も次は調査してみたいです。

・魚がすばしこいのであみでとるのは、とても大変でした。

・河口にいる生き物が多くてとれをまとめるがまよいました。

・外がとても暑くてしんどかったです。

・川の上から生き物をカメラでとるのがとてもむずかしかったです。

・下流のポイントに昼と夜に行きましたが水位が80cmくらいありました。

・北赤道海流からのぼってきたウナギをやと釣ることができました。うれしかったです。とてもおいしかったです。

おわり

またねー!!!

